

JA商品の販売



純情ショップが取り扱う商品はAコープマーク商品や全農マーク商品に加えて、JAいわてグループのアンテナショップとして県下7JAのおすすめ商品販売をしています。

産直コーナー



地元JAの産直部会の生産者が丹精込めて作った青果物や加工品も取り扱っており、毎朝フレッシュな商品が生産者によって並べられています。

おにぎりコーナー



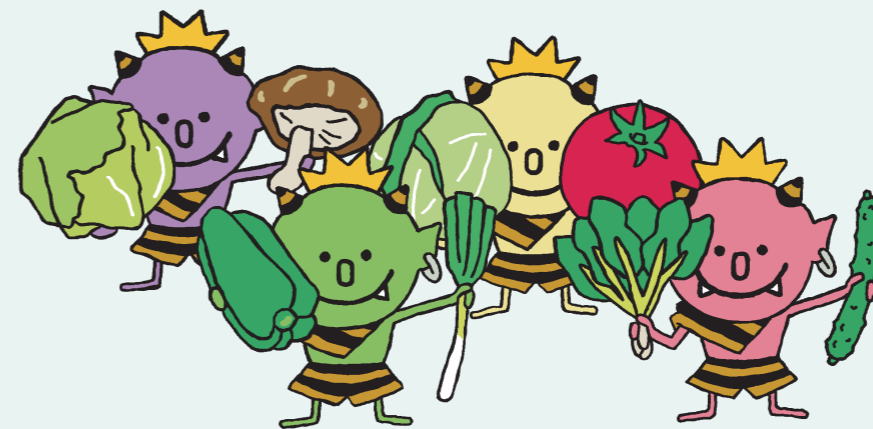
純情ショップは、県産農畜産物の魅力を消費者に発信していく拠点としてだけでなく、県産農畜産物の消費拡大のに向けた取り組みを積極的に実施しています。

現在は、岩手県産米の消費拡大の取り組みとして、銀河のしずくを使用したおにぎりを販売しています(9月末まで実施予定)。

純情ショップでは、生産者と消費者を結ぶ懸け橋として、また、JAいわてグループのアンテナショップとして魅力ある店舗づくりに努めています。



JA 全農いわて  
直営店舗  
「純情ショップ」



盛岡市大通のサンビル1階にある純情ショップは、令和2年度10月より店舗運営を(株)Aコープ東北から全農岩手県本部に変更し、全農岩手県本部の直営店舗として営業しています。そして、今年度4月に「純情産地いわて」の新しいロゴマークの発表に合わせて、ロゴマークを基調とした内装に生まれ変わりました。



## 農畜産物で選手を応援!!

令和3年7月30日(金)

盛岡大学附属高等学校野球部へ  
「支援金」「いわて純情豚一頭」を贈呈

2年ぶりに行われる夏の全国高校野球選手権大会を前に、岩手県大会で優勝した盛岡大学附属高等学校野球部の監督や選手が7月30日(金)、JA全農いわてを訪れ大会への意気込みを語りました。同校は、2年ぶりに開催された岩手県大会を強力打線を武器に勝ち上がり、4年ぶり11回目の夏の甲子園出場を決めました。

当日は、同校の山形守平校長と硬式野球部の関口清治監督、田屋瑛人キャプテンの3名がJA全農いわてを訪れ、JA全農いわての高橋司県本部長に甲子園での抱負を語りました。田屋瑛人キャプテンは「岩手県産農畜産物を食べて、盛大附属らしいプレーをしたい。」と初戦突破に向けて力強い意気込みを語りました。高橋司県本部長より激励の言葉と合わせて「支援金」と「いわて純情豚一頭」が贈られました。



支援金と県産農畜産物が贈られた(JA全農いわて応接室にて)

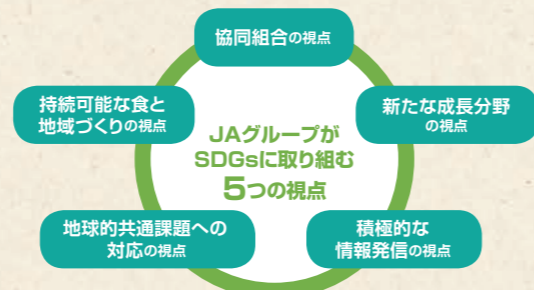
## SDGsの理解醸成に向けて

令和3年7月30日(金)

広報担当者研修会

令和3年7月30日(金)に開催した広報担当者研修会のカリキュラムの一つとしてSDGs(持続可能な開発目標)について学びました。研修会ではSDGsの17の目標やSDGsとJAの事業活動との関係性について学習し、JAグループとして今後どのようにSDGsに取り組んでいくべきか理解を深めました。また、研修会参加者が研修で学んだ知識を課員に周知する際に活用できるようSDGsの内容を簡潔にまとめたテキストも配布しました。

今後は、SDGsと各事業施策を関連づけ、日ごろからSDGsを意識した事業運営を実施していくことになります。



JAグループがSDGsに取り組む5つの視点

## 岩手県知事表敬訪問

令和3年6月29日(火)

全農乾椎茸品評会・全国乾椎茸品評会における農林水産大臣賞受賞者

令和3年8月3日(火)第68回全国乾椎茸品評会※1及び第54回全農乾椎茸品評会※2において、県内の生産者が最高位の農林水産大臣賞を受賞したことから、岩手県知事に受賞を報告する表敬訪問が岩手県庁で行われました。

第68回全国乾椎茸品評会(1組2名)において農林水産大臣賞こうこの部は山田町の芳賀榮三氏、芳賀のり子氏が、第54回全農乾椎茸品評会(1組2名)農林水産大臣賞こうしん中葉厚肉の部の受賞者は山田町の芳賀隆氏、芳賀幸子氏が受賞しました。

表敬訪問では、達増達也県知事のほか、岩手県森林組合連合会深澤明広業務部長、JA新しいいわて宮古営農経済センター山崎章副センター長、JA全農いわて川村千伸園芸部長など関係者11名が出席をしました。

芳賀隆氏は「冬にビニールハウス内で徹底した水分管理を行い、白く身のしまった乾椎茸を栽培している。岩手県の乾椎茸は全国でも一番の品質であると思う。乾椎茸と言えば岩手県と言われるように今後も精進していきたいと思う。」と受賞の喜びを報告しました。

達増達也県知事は「岩手県での乾椎茸生産者にとってとても大きな励みになる。県民の皆様も、岩手県産乾椎茸の品質の良さを改めて感じ、消費の拡大に繋がることを期待したい。今後も岩手県の椎茸の生産を盛り上げてほしい。」と激励の言葉を述べました。



岩手県知事表敬訪問(岩手県庁)

## 3年ぶりに新米全国統一キャンペーンの実施を発表

令和3年8月4日(水)

2021いわて純情米新米キャンペーンweb説明会

JA全農いわては令和3年8月4日(水)に「2021いわて純情米新米キャンペーンweb説明会」を初めて開催し、全国のいわて純情米取引先20社35名がwebにて参加しました。

冒頭で、主催者であるJA全農いわて越沼洋一副本部長は、「米の販売情勢は、コロナ禍で依然厳しさが続いており、3年産米は大幅な作付転換をすすめてきた。このような中で、3年産米はリスタートと考え、いわて純情米の新たな需要創出に向け再構築していきます。」と挨拶しました。県農林水産部県産米戦略室の照井儀明主任主査も参加し、「いわてのお米ブランド化生産・販売戦略」について、岩手県オリジナル品種である「金色の風」「銀河のしずく」の今後の展開を報告し、JA全農いわてからは令和3年産米の生育状況・新たな販売戦略や「銀河のしずく」の生産拡大について説明しました。

今説明会のメインである「いわての純情米『一度でいいから食べてみて』キャンペーン」は、JA全農いわてとして3年ぶりの全国統一キャンペーンであり、参加した全国の取引先は真剣に耳を傾けていました。また、いわて純情米の購入を促進するために、テレビCMを関東・関西・中京・岩手県内で放送します。

JA全農いわては、①いわて純情米5kg以上の購入者いわて牛や三陸海宝漬が当たるキャンペーン②岩手県のオリジナル品種である金色の風・銀河のしずくのモニターキャンペーン③実需者へいわて純情米(金色の風・銀河のしずく・ひとめぼれ)新米をお届けするダイレクトサンプルの3本柱で新米キャンペーンを実施すると発表。①は新米販売開始から12月末までの3ヶ月間全国で実施予定です。



2021いわて純情米新米キャンペーンweb説明会(JA全農いわて会議室)

## TAC活動のさらなるステップアップへ!!

令和3年8月6日(金)

令和3年度岩手県TACパワーアップ大会

JA全農いわては8月6日(金)JAいわて中央 紫波支所 パーフルパレスで「令和3年度岩手県TACパワーアップ大会」を開催しました。

今大会には、県内全7JAのTAC担当者や関係者43名が参加し、TAC活動のさらなるステップアップに向けた活動事例の紹介や取組内容の情報共有など、担い手対応強化への気づきや方向性を見出す相互研鑽を図りました。

職業紹介所を活用した雇用労働力の確保対策や外国人実習生の受入事業などで全国大会「JA表彰の部」にエントリーするJA江刺を皮切りに、JA新しいいわてによる畜産クラスター事業(生産基盤強化のための補助事業)を用いた牛舎建設、JAいわて中央やJAいわて花巻が取り組んでいるスマート農業活用による労働力支援、JA岩手ふるさとのGPS機能付き農業機械の導入による農作業の負担軽減、JAおおふなどによる農家の所得向上に向けたeコマース事業(インターネット販売)の展開、JAいわて平泉の新規就農者支援事業など6JAが「TAC表彰の部」にエントリーする活動報告の発表を行いました。

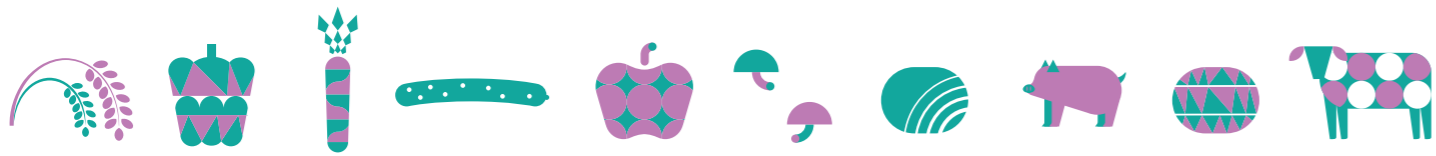
また、活動報告終了後には基調講演として川嶋印刷(株) 那須照市編集長による『「笑顔であTAC!」～取材時の心遣いと準備、苦手意識の克服～』と題し、長年にわたる広報制作で培った経験から、生産者の信頼をより得るための心構えについて講演が行われました。

「TACパワーアップ大会2021(全国大会)」は令和3年11月17日(水)に新横浜プリンスホテルにて開催される予定です。



活動報告の様子





まえむきに  
ひたむきに  
純情産地  
いわて

# INTRODUCTION

畜産酪農部

## 畜産酪農部の取り組みについて

### 3. コロナ禍における販売促進活動

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまで実施してきた試食販売や各種イベントが開催できず、直接お客様に県産銘柄豚の魅力伝える機会が減少してしまいました。

そこで新たな販売促進活動として、県産銘柄豚を使用した料理動画を作成し、YouTubeで視聴できるようにQRコードを記載したリーフレットカードをスーパー等で配布しました。動画を視聴したお客様からは「料理の幅が増えて家族と過ごす時間も増えた」という嬉しいお声もいただきました。このほかスピードくじなど、感染症対策を実施しながら販売促進活動をおこない、県産銘柄豚の魅力を最大限発信しています。

#### ■青森県内スーパーでおこなった販売促進活動の様子



マスク着用や消毒を実施して感染対策に留意して実施しました。

今後も引き続きより多くのお客様に県産銘柄豚の魅力が伝えられるよう販売促進活動を実施していきます。

#### 制作したリーフレットカード（3品）



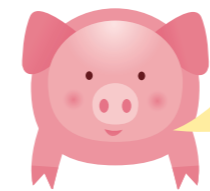
※よこまちストアチャンネル QRコード

ご家庭でも簡単に作れるレシピ動画です。是非ご覧ください。

### コロナ禍における販売促進活動について

#### 1. はじめに

JA全農いわてでは販売力強化の取り組みとして肉豚産地提携事業を実施し、その一環として県内外において販売促進活動を継続的にこなうことで「岩手県産銘柄豚」の知名度向上をはかっています。



販売促進活動は、県内では3カ所、県外では4カ所で毎年実施しています。



#### 岩手県内の銘柄豚

##### <県内販売向け>

- ・いわて純情豚愛海
- ・亜麻豚
- ・南部ロイヤル
- ・南部福来豚
- ・アイコープ豚
- ・熟成豚
- ・白ゆりポーク

##### <県外販売向け>

- ・茶美豚
- ・東北産美味豚
- ・八幡平もち豚
- ・南部ピュアポーク
- ・岩手純情豚

#### 2. 販売促進活動

販売促進活動は、岩手県内や関東地方で実施しており、県産銘柄豚の試食販売や各種イベントを行うことで、県産銘柄豚や産地の魅力をお客様に発信しています。

#### ■過去の販売促進活動におけるイベントの様子



じゃぶじゃぶ試食



餅つき



半額じゃんけん大会





営農支援部 営農技術課  
技術主管  
小菅 裕明

# 水田土壌の変化と土づくり



表1 県内水田への有機物・土づくり肥料の施用状況

資材名	施用率 (%)
堆肥	28.4
稲わら	83.3
土づくり肥料(ケイ酸)	30.0 (△ 59.0)

※調査年:平成26~30年(定点調査:昭和54年~)  
※括弧は過去35年間に於ける施用成分減少率(%)  
※平成30年度岩手県農業研究センター成果書から引用

## 東北ブロック土づくり再興運動(抜粋)

1. 目的  
近年、担い手の減少や農業機械の大型化など生産基盤の変化を踏まえて、土づくりの再構築が重要視されてきている。そこで、令和2年~令和4年の3か年を東北ブロックの強化期間として定め、次のような目標を掲げ取り組んでいる。
- (1) 土づくりの取り組みを運動として展開するため、**土づくり課題(「労力」「費用」「効果・評価」)**の解決策を、**生産者およびJAの優良事例**から学び取り、広く普及推進します。
- (2) 「**土壌診断の活用**」、「**資材展開の工夫**」、「**事例の共有化**」を柱に**「土づくりの見える化」**を図り、**JA、生産者のネットワーク、行政・消費者へのアプローチ**となるような**土づくり展開**に繋げます。
- (3) JAグループの総合力を生かし、**土壌診断から販売までの生産・流通体制の構築**を図り、**土づくりによる農家手取り向上**に向けた仕組みづくりを促進します。

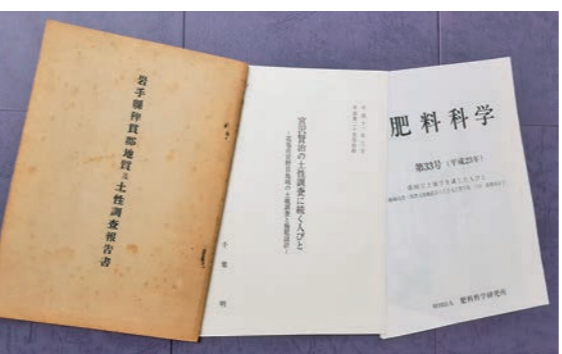
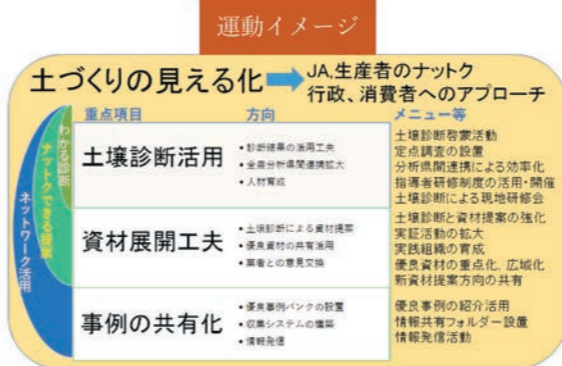


図1 千葉明氏の著書等(中央・右の2冊、左は参考)

**★水田土壌の変化**  
以前に比べて、田植え直後から藻類が多発し、表層剥離を起こすことが多くなったと聞きます。この現象は水の富栄養化や高気温等が原因と言われていますが、一方、最近の水田圃場はトラクターの大型化に伴う踏圧から作土直下の耕盤層が硬くなり、更に耕起・碎土ともロータリが主となることで作土を細粒化し田面水の縦浸透(透水性)を低下させる場合が多くなっていることも一因と言われています。  
また、「堆肥」から「稲わら鋤きこみ」の増加に伴い、分けつが旺盛になる六月頃から土中では、その分解に伴う酸欠状態から根の機能低下を引き起こすことが多くなっています。こうした圃場では、秋耕を基本に、窒素肥料を土壌表面に散布するだけでも稲わらの分解が促進されます(表1)。  
※千葉満男ら1980年岩手県農試研究報告

**★ケイ酸供給量の不足**  
県内水田におけるケイ酸資材の成分施用量は県が実施したモニタリング調査結果から三五年前に比べ約六割減少しています。  
その要因は、散布労力や肥料費がかかること、施用効果を実感しにくいことが挙げられます。一方、灌漑水中のケイ酸濃度は河川等擁壁整備の影響から減少傾向にあり、また、全農広域土壌分析センター岩手が分析した県内水田の可給態ケイ酸は約六割の圃場で基準値を下回る現状です。

**★参考 先達から土づくりを学ぶ**  
ここでは本会の元技術参与を務めた「千葉明氏(元県農試場長)」がその在任中に執筆された著書等を紹介いたします(図1)。  
現花巻市宮野目周辺は、宮沢賢治が盛岡高等農林学校在学中に関豊太郎教授の指導で土壌調査が行われ、「地質及び土性略図」が作成されています。  
千葉氏は、当時本会が土づくりビデオ製作の際に、同市宮野目の鎌田辰男氏(元宮野目農協組合長)が所有する賢治が書いた施肥設計書に触れたことに端を発し、その後、同地域の水稻栽培の指導に係わった人々によって、どのように土壌調査が引き継がれ、新しい見方の土壌調査図が完成したかや、水田の肥沃度判定のための土壌分析はどのように行われ、解釈されたのか、その経緯を土壌の専門家の視点でたどっています。  
今日、当地域は良質・良食味米を指向する安定生産が可能な施肥設計、そして「土づくり」に取り組んでいます。



「純情産地いわて」から、より選りすぐりの農畜産物を掲載しています。オススメ商品盛りだくさん! 詳しくはこちらから▶▶▶

<https://www.ja-town.com/shop/c/c2101/>



対象商品 送料無料販売中!! この機会に岩手県のお米はいかがでしょう。

**農家応援** 金色の風 5kg・銀河のしずく 5kgの食べ比べセット(10kg) **5,000円**(税込)

**農家応援** 金色の風 2kg 2年産 **1,600円**(税込)

**農家応援** 金色の風 5kg 2年産 **3,000円**(税込)

**農家応援** 銀河のしずく 2kg 2年産 **1,500円**(税込)

**農家応援** 銀河のしずく 5kg 2年産 **2,800円**(税込)

この他にも送料無料の対象商品がございます。9月20日までの限定販売です。





●趣味・特技

ドライブ、音楽鑑賞

●現在の担当業務

養豚に関する事で、主に毎月発行している養豚情勢や、肉豚販売実績にもとづいた請求や支出処理を行っています。

●これからどんな職員になってみたいか

社会人としても畜産のことにしても勉強の毎日ですが、少しでも早く生産者さんの役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくをお願いします！

畜産酪農部 畜産統括課

菊池 優さん

JA全農いわての純情人

じゅん じょう びと



純情ブランド消費地の「今」をレポートします。

消費地だより



園芸販売センター 菊池 拓哉

岩手県産注目果実 「ブルーベリー&りんご」Wインタビュー

現在、本県産野菜が最盛期を迎える中、今後秋に向けて果実も続々出荷が始まります。今回は本県産注目果実である「ブルーベリー&りんご」について、東京青果(株)の小山課長補佐(りんご)・高木さん(ブルーベリー)にWインタビューを行いました。

岩手県産ブルーベリーについて お聞かせください。

高木 「岩手県産の本格的な入荷開始は、7月上旬頃となりますが、初夏〜お盆前までの長期間入荷がある貴重な産地

です。同時期の他産地と比べて、酸味も感じられ、食味も良いです。品質面でも実がしっかりとっており、イタミもないため、販売先からの評価が高いです。」

ありがとうございます！では今後、産地に期待することを教えてください。

高木 「やはりロットの確保を求めたいです。固定客も付いておりますので、現状の規格・品質を確保しつつ、ロットは現状維持を目標に頑張ってください。その分単価でしっかり返していきたいと思っています。」

続いて、今後出荷最盛期を迎えるいわて純情りんごの魅力・注目品種についてお聞かせください。

小山 「近年、異常気象と言われている中で、他産地にはない品質の高さが一番の魅力です。注目品種は、全農いわてが主力販売をおこなっている、「紅ロマン」「紅いわて」「はるか」の3種類ですね。特に紅色シリーズは、果色も真っ赤で売場に並べても高級感があり、見栄えが素晴らしいことから近年独立した地位を確立しており、顧客に定着しております。他県産のりんごの販売動向に左右されることなく、紅色シリーズの需要はぶれることなく販売を行うことができいております。

また、「はるか」は、言うまでもなく国内のみならず、輸出先でも高く評価されており、世界に誇る高級りんご「冬恋・はるか」として、冬場のりんごの売場にかかせないアイテムとなっております。」

ありがとうございます！販売先からの評価の高さが伝わってきます。今シーズンも始まりますが、産地、生産者に向けてメッセージをお願いします。

小山 「近年の異常気象や自然災害など、想定外の事象が数多く起こる中で、生産者の皆様方が大変ご苦労をされながら品質を維持されていることに対し、感謝申し上げます。産地の皆様が「いわて純情りんご」を生産し続けられるよう弊社は皆様に1円でも多く還元できるように、岩手県産りんごの販売をより強力に行って参りますので、よろしくお願致します。」

ありがとうございます！今年もオール岩手として頑張ってください！



Let's try cooking 24 orders

加熱調理で増すトマトの旨味 丸ごとトマトのオーブン焼き

◇材料(2人分)

- トマト…2個、挽き肉(牛・豚の合挽き)…160g、玉ねぎ…50g、にんにく…1片、オリーブオイル…大さじ1、ナツメグ…1g、塩・こしょう…適量、シュレットチーズ…10g、パセリのみじん切り…適量

◇作り方

- ① トマトはヘタを取り、スプーンで器状にくり抜く。くり抜いた中身は別に取っておく。
② フライパンにオリーブオイル、みじん切りにしたにんにくと玉ねぎを入れ、玉ねぎがしんなりするまで炒める。
③ 玉ねぎが透明になったら、合挽き肉と①でくり抜いたトマトの中身を入れ、中火で水分が飛ぶまで約1分間炒める。
④ ③にナツメグを加え、塩・こしょうで味を調える。
⑤ オーブンを190℃に温めておく。
⑥ ①のくり抜いたトマトの中に④を入れ、チーズを上からかけてみじん切りパセリをのせたら、10~15分間オーブンに入れて熱する(チーズに焦げ目がつくまで)。
⑦ ⑥をオーブンから出し、皿に盛り付ける。

料理監修

オーナー/佐々木朋美



紫波郡矢巾町又兵衛新田第7地割199
くるみアパートメント1F
TEL 019-681-7337
Mail tom1123tom@icloud.com
https://tom-creperie-deli.com



JA/SS

国内3メーカーのスタッドレスタイヤを大特価でご奉仕!

全農  
JA全農軽トラック  
用スタッドレスタイヤ  
特価キャンペーン13,200円(税込)13,200円(税込)14,520円(税込)

※金額はタイヤ4本セットでの価格となります。ホイールは含まれておりません。※作業工賃、廃タイヤ処理料は別途になります。

キャンペーン期間

2021年9月1日(水)~10月31日(日)



詳しくはお近くのJA-SSへ

JA/SS いわてJA-SSチェーン チェーン本部/岩手県花巻市二枚橋5地割120-1 TEL.0198-29-4031

## 編集後記

今月の「特集」は純情ショップの紹介でした。

私のおすすめはアイスクリームとジュースコーナーです。味の種類がとても豊富なのでぜひ自分に合う商品を見つけてみてください。ちなみに私はこめ味のアイスクリームがとても気に入っています。皆様もぜひご賞味ください。(清川)

## KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、 에스ぺ란토語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかになるという願いが込められています。



私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。

■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。

■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

私たち「安心」を3つの視点で考えます。

生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

JA 全農いわて 総合企画課

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145

JA 全農いわてホームページ

<http://www.junjo.jp>